



# きらり☆北小っ子だより



勝央北小ホームページ  
<http://gakuji.town.shoo.lg.jp/shookita-es/>



欠席・遅刻は、まなびポケットからお願いします。



2月の定時退庁日は27日(金)です。ご協力をお願い致します。

## ★「…少し春ある心地こそすれ」

冬らしい寒い日が続いています。2月4日(水)は、立春です。いよいよ春の足音が聞こえてくるのではないかと、期待しています。そこで2月の児童朝礼では、そんな気持ちにあう和歌を紹介しました。ちょうど朝から雪が舞う寒い日でした。

(上句) 空寒(そらさむ)み 花にまがへ(え)て散る雪に

(下句) 少し春ある 心地こそすれ

(訳)寒そうな空から花びらが舞うように散る雪の様子に、少し春の気配が感じられますね。

こちらの句は、歌人の藤原公任(きんとう)から届いた(下句)に、清少納言が(上句)を付けたそうです。ネットで調べてみると、届いた下句を見て、白楽天(白居易)の『白氏文集』にある漢詩を元にしたものであることに気付いた清少納言が、同じ漢詩を元に上句を作ったと言われています。その漢詩の一部に、

三時雲冷多飛雪 二月山寒少有春

(さんじくもつめたくしておおくゆきをとばし にながつやまさむくして

すくなくはるあり(または)はるあることすくなし)

という一節があります。

約千年も前の言葉のやり取りに、改めて日本の文化の奥深さを感じます。

言葉の持つ意味や、その言葉に込められた思いや願いにまで気を配れるようになりたいですね。

また、百人一首などで和歌に触れることもできますが、その歌の背景等までは踏み込むことは少ないと思います。自学ノートに調べてまとめてみるのもいい学びになると思います。児童朝礼では、「声に出して読んでみましょう。」と、全校で音読しました。

## ★三味線ミニコンサート



三味線の演奏を聴く児童

ボランティアでお世話になっている山本めぐみさんと一緒に三味線の稽古をされている皆さんが、お昼休みに体育館でミニコンサートを開いてくださいました。

お昼休みのことなので、参加する児童はそれほど多くないと想定して、はじめは会議室で行うつもりでした。三味線を知っている人は多いと思いますが、直接演奏されているところを見る機会は多くないと思います。興味があったの

か、かなりの人数の児童が聞きに行くと希望していることが分かったので、急遽、体育館で行いました。パプリカや三味線の音楽を聞かせていただきました。生の演奏を聞かせていただく機会をいただき、三味線教室の皆様にご心よりお礼申し上げます。

## ★3年生がクラブ見学に行きました。

今年も、3年生がクラブ見学を行いました。ニグループに分かれて、4年生になったらどのクラブにするかお話ししながら、ぐるっと各クラブを見て回りました。それぞれのクラブで、クラブ長さんが説明してくれました。少しずつ次年度の準備が始まっています。



室内スポーツクラブの説明



6年生 薬物乱用防止教室



6年生 就きたい職業調べ



1年生 氷あそび



3年生 黒豆のさやむき

### ★読書の習慣について(学校アンケートから)～その2～

保護者の皆様には、学校アンケートにご協力をいただきありがとうございました。昨年に続いて、読書がなかなかできていないという学校アンケートの結果から、読書に関わる統計を調べました。今回は、その2を紹介します。

## 「読書をしない」子どもは10年前と比べて1.5倍に増加 スマホ時間と読書時間は逆相関関係があり、読書0分の子は語彙力・読解力が低い傾向

[https://benesse.jp/berd/special/chilidedu/pdf/newsLetter/newsLetter\\_20251020.pdf](https://benesse.jp/berd/special/chilidedu/pdf/newsLetter/newsLetter_20251020.pdf)

●語彙力・読解力調査(東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所による共同実施)

【調査テーマ】子どもの語彙力・読解力の実態(子ども調査)

【調査時期】2017年、20年、23年の2～3月 【調査方法】調査依頼は各回とも郵送で実施、回収はWEBで実施。

【調査対象】語彙力調査…小学3年生、6年生、中学3年生、高校3年生 ※2023年調査は中学3年生、高校3年生のみ  
読解力調査…中学3年生、高校3年生(語彙力調査と同じ対象者に実施)



#### ◆語彙力調査

	2017年	2020年	2023年
発送回数	7,089	6,500	2,893
回収数	3,757	4,256	1,569
回収率(%)	53.0	65.5	54.2

#### ◆読解力調査

	2017年	2020年	2023年
発送回数	3,650	2,940	2,893
回収数	1,169	1,182	1,121
回収率(%)	32.0	40.2	38.7

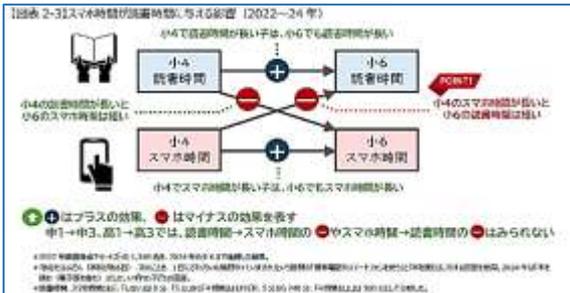


各回とも子どもの生活と学びに関する親子調査の調査モニターに協力を依頼、発送数・回収数・回収率は上記の通り。今回は、ベネッセ教育総合研究所が東京大学社会科学研究所と共同調査した結果と分析を抜粋して紹介します。

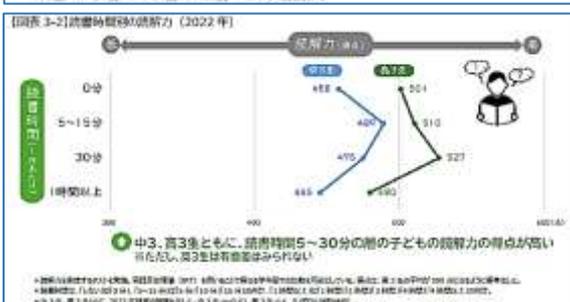
【図表2-2】で、小中学生では読書時間(横軸)が短い人のスマホ時間(縦軸)が長くなっています。

さらに【図表2-3】は、小4の時の読書時間とスマホ時間を小6になった時と経年比較しています。

小4の時、読書時間の長い子どもは小6の時スマホ時間は短く、小4の時、スマホ時間の長い子は小6でもスマホ時間が長い結果が出ています。この傾向は、小学生で顕著に表れていて、中・高校生には見られないようです。調査でも「スマホ時間が読書時間に与える影響は、学年が低いほど大きいことが示唆される。」と分析されています。



【図表3-1】は語彙力、【図表3-2】は読解力と読書の関係を表しています。小・中学生の内は、読書時間が長いほど語彙力が高まっています。高校生ぐらいになると、長ければよいというわけでは無くなるようです。小学生の読解力については出ていませんが、読書時間5分～30分の中・高校生の読解力が高くなるようです。



効果的な読書時間は30分ぐらいまで、ということのようです。個人差も考慮に入れ、きっと集中して読書が出来る時間と言うことかなと思いました。

次回につづく